

# Flash Eyes

観戦ガイド1月19日号

天皇杯・皇后杯  
平成29年度

全日本卓球選手権大会  
(一般・ジュニアの部)

東京体育館

平成30年1月15日(月)  
～1月21日(日)



1月19日の予定

- シングルス 5回戦～6回戦
- ダブルス 5回戦～準々決勝

## ◆ 試合速報

試合の結果速報は、大会サイトで検索することができます。下記アドレスでご確認ください。さあ、今すぐアクセス！

●全日本選手権特設サイト

<http://www.japantabletennis.com/zennihon2018/>

## ◆ 入場料

●アリーナ席・SS席・S席・A席がございます。

詳細は、下記アドレスでご確認ください。  
<http://www.japantabletennis.com/zennihon2018/ticket>

## ◆ 東京体育館

東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1  
TEL 03-5474-2111

<http://www.tef.or.jp/tmg/>

●JR総武線「千駄ヶ谷駅」下車すぐ

●都営地下鉄大江戸線

「国立競技場」A4出口

●都営バス(早81)

早大正門発「渋谷駅東口行き」

「千駄ヶ谷駅前」で下車徒歩1分

●都営バス(黒77)

目黒駅発「千駄ヶ谷駅行き」

「千駄ヶ谷駅」

で下車徒歩1分

# 全日本 鎧袖一触

1月18日、平成29年度全日本卓球選手権大会4日目が行われた。混合ダブルスは、アジア選手権2位の森薦政崇・伊藤美誠組が、決勝で輕部隆介・松本優希組に勝利し、笑顔の初優勝を飾った。

ジュニア男子は、張本智和が先輩・宇田幸矢を破り、男子史上最年少優勝。女子は、長崎美柚が逆転で塙見真希を下し、涙の初優勝を成し遂げた。

本日は、男女ダブルスのベスト4が決定する！またシングルスではランク入りをかけたサバイバルマッチが展開される。

## 混合ダブルス

森薦 3 (11-8, 11-9, 13-11) 0 軽部  
伊藤 松本



混合ダブルスの  
準決勝は、  
ワールドツアード  
組んでいるパートナー  
同士の対決となった。

## 森薦政崇・伊藤美誠 組

### 森薦政崇選手(明治大)

強化本部推薦の出場だったので、プレッシャーがありました。4回戦で田添・前田組にもし負けていればランク推薦がなくなるので、勝てて良かった。

準決勝の大島・早田組とは練習してきた仲だったのですが、自分たちのプレーをしようと臨みました。自分たちのプレーがしっかりできたと思います。振り返ってみると初戦から出足がわるく、伊藤さんにだいぶ助けられました。大島・早田組に台から距離をとられてプレーされると、相手のペースになってしまないので、早い打点で先に攻めました。サーブレシーブで崩し、時間を与えないようにしました。

### 伊藤美誠選手(スターツSC)

決勝は森薦さんに助けられてばかりで、なんとか乗り越えることができました。3-0だったのですが、苦しい試合でした。マッチポイントは自分たちの良いプレーができたと思います。準決勝は大島さんのボールにパワー負けしてしまって、思ってもいないコースにボールがいってしまい、それが逆に何本かポイントになって良かったです。2020年の東京オリンピックを考えず、全日本にかけていました。オリンピックも狙って行きたいと思います。

# 1/18 PHOTO トピックス



## ▼選手インタビュー▼



平野美宇選手

初めて第一シードとして挑んだ全日本選手権で、いつもとは違った感じで試合が進みましたが、まずは、初戦を突破できて良かったです。気持ちが大事だったので、自分のプレーをすることを意識しました。この後もその気持ちを持って相手が向かってくるのをはねのけて行きたいです。

## ▼スーパーシード勢散る▼

男子シングルスは、昨年準優勝の吉村和弘、3位の吉田海偉、ジュニア連覇の木造勇人らが初戦で敗退した。

女子ダブルスは、昨年王者の平田・永尾組が鈴木・安藤組にゲームオールの末敗れた。



鈴木・安藤組



ジュニア男女

## 男・女共にJOCエリートアカデミー

### 張本智和選手

初めてベスト8に入つてからその後勝てなくて、今年優勝できなかったらヤバイと思っていました。優勝できて、うれしさよりもホッとしています。決勝の2ゲーム目は1-7の劣勢から逆転し、2ゲーム目をとつたことで、優勝への意識が高まり、3-0で勝つことができました。でも、一般で優勝しなかったら、意味が無いと思います。確実に実力がついてきているので、残り2種目も自分のプレーをすれば結果はついて来ると思います。

### 長崎美柚選手

この大会は第一シードだったので、最初は堅くなってしまいました。準決勝からは苦しい試合でした。決勝戦の塙見選手は、昨年末の世界選手権の選考会では3-2で勝っていたのですが、対策など色々研究されて、序盤は0-2と苦戦しました。メンタル面が成長し、諦めずに踏ん張ることができたので優勝することができました。中国選手や強い選手に対応するため、世界ジュニア帰国後にフォームを改造しました。難しく、まだ完成はしていませんが、速いピッチについていくようにして、世界選手権の代表に選ばれるように頑張りたいと思います。

## 競技日程

### ● [第5日] 1月19日 (金)

■シングルス 5~6回戦

■ダブルス 5回戦~準々決勝

### ● [第6日] 1月20日 (土)

■シングルス 準々決勝

■ダブルス 準決勝~決勝

### ● [第7日] 1月21日 (日)

■シングルス 準決勝~決勝

■閉会式